

科目名	肢体不自由者の心理・生理・病理			担当教員	谷 浩一、渡邊 雄介	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED3SSR104
期待される学修成果	教科教育 子ども理解					
アクティブ・ラーニングの要素	プレゼンテーション					
実務経験	教諭（講師含む） / 作業療法士					
実務経験を生かした授業内容	肢体不自由特別支援学校教諭や作業療法士として関わった児童生徒の学校生活全般や、保護者及び兄弟姉妹の支援の様子などを講義内容に反映させる。					
到達目標及びテーマ	肢体不自由児教育に関しては、これまで優れた先人達が様々な取組みを行ってきている。そうした先人達の足跡を調べたことを相互にプレゼンテーションや意見交換をすることによって、肢体不自由者の心理・生理・病理について深く学ぶとともに、それを踏まえた指導のあり方を論じることができるようになる。加えて、授業の後半では、人体のしくみや主に脳性マヒの病理の視点から肢体不自由を理解することができる。					
授業の概要	肢体不自由児教育に関しては、わが国のみならず諸外国も含めこれまで優れた先人達が様々な取組みを行ってきている。そして、そうした先人達の取組みは、必ずや心理・生理・病理に関する知見を踏まえたものだと考えられる。そこで、そうした先人達の考え方や成果を参考文献を学生自ら調べ、プレゼンテーションの作成を通して教員と学生相互でディスカッションすることによって肢体不自由児の心理・生理・病理の基礎的理解を促進する。加えて、授業の後半では、人体のしくみや主に脳性マヒの病理の視点から肢体不自由の解説を行う。 デジタル技術利用に関しては該当しない。					

授業計画	
第1回	先人の紹介と、プレゼンテーションの担当者決め （担当：谷 浩一）
第2回	わが国における先人紹介① 渡辺代吉、田代義徳、柏倉松蔵、等 （担当：谷 浩一）
第3回	わが国における先人紹介② 高木憲次、結城捨次郎、松本保平、等 （担当：谷 浩一）
第4回	わが国における先人紹介③ 小林提樹、村田 茂、成瀬悟策等 （担当：谷 浩一）
第5回	諸外国における先人紹介① リットル、フォン・クルツ、クヌーゼン、等 （担当：谷 浩一）
第6回	諸外国における先人紹介② シェーファー、ワード、グラチョーフ、等 （担当：谷 浩一）
第7回	諸外国における先人紹介③ ビザルスキー、ボバース、ドーマン、等 （担当：谷 浩一）
第8回	肢体不自由児の生理、病理（１）脳神経 （担当：渡邊雄介）
第9回	肢体不自由児の生理、病理（２）筋骨格系 （担当：渡邊雄介）
第10回	肢体不自由児の生理、病理（３）感覚系 （担当：渡邊雄介）
第11回	肢体不自由児の生理、病理（４）生体力学 （担当：渡邊雄介）
第12回	肢体不自由児の生理、病理（５）姿勢ケア （担当：渡邊雄介）
第13回	肢体不自由児の特徴と支援（１）重度の痙直型・中等度の痙直型（心理的支援を含む） （担当：渡邊雄介）
第14回	肢体不自由児の特徴と支援（２）アトローゼ型・筋疾患（心理的支援を含む）（担当：渡邊雄介）
第15回	まとめ（担当：渡邊雄介）

事前学修	2時間	前時に指示されたプレゼンテーション作成に向けての準備や学習内容事項の下調べ等
事後学修	2時間	授業内で指示された事項の振り返りと「整理ノート」の作成
フィードバックの方法	各自が「整理ノート」を作成することでその日の授業を振り返る。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
上記以外の試験・平常点評価	100%	（前半）プレゼンテーションの内容、レベルの観点から評価、（後半）授業内容を踏まえたレポートで評価
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
無し	無し	無し	無し	無し
参考資料	人物でつづる障害者教育史 日本編（精神薄弱問題史研究会編、日本文化科学社、1988） 人物でつづる障害者教育史 世界編（精神薄弱問題史研究会編、日本文化科学社、1988） 特別支援学校教育要領・要領解説自立活動編 等			